

成田空港における CO2排出削減に向けた取り組みについて

2022年6月16日
成田国際空港株式会社



Narita Airport
Connecting Japan to the World

サステナブルNRT2050におけるCO2削減目標

2050年度目標（長期）

- NAAグループが排出するCO2を**ネットゼロ**にします
- 成田空港から排出されるCO2を2015年度比で50%削減します

2030年度目標（中期）

- NAAグループが排出するCO2を2015年度比で30%削減します
- 成田空港から排出されるCO2を2015年度比で発着回数1回あたり30%削減します
- NAAの「ネクストアクション」を定めてCO2削減を推進します
- 更なる機能強化における環境負荷低減の取り組みを推進します

NAAグループの取り組み

- ① 先進技術の導入（業務用車両の低公害化、ゼロカーボン化等）
- ② ネクストアクション（NAA本社ビル・NAA社員の取り組み）
- ③ 更なる機能強化（工事中の環境負荷低減等）



ステークホルダーの皆様との協働により検討・推進する取り組み（空港全体）



*1 Sustainable Aviation Fuelの略。原材料の生産・収集から燃焼までの過程で、CO2排出量が少ない持続可能な供給源から製造されるジェット燃料。

*2 Ground Support Equipmentの略。グランドハンドリング作業に使用する器材の総称。

管制分野の連携施策例 成田空港CDM (A-CDM)

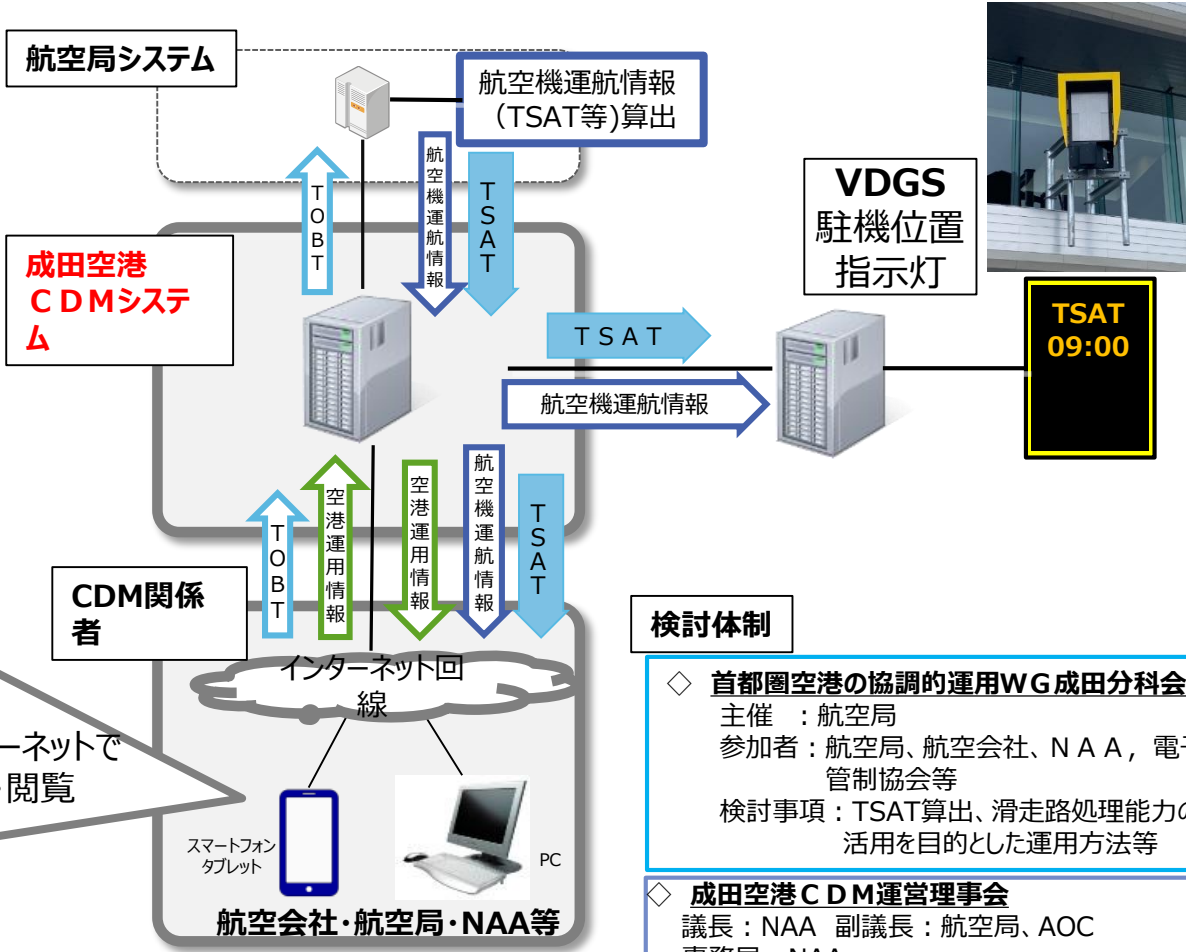
空港CDM：航空会社、ハンドリング会社、管制機関、NAA等の関係者が相互に航空機の運航や空港の運用に関する情報現況及び予測をタイムリーに共有し、スタッフ・機材・施設などのリソースを最大限に活用して**協動的に空港運用能力を全体的に強化する取り組み**。2020年4月から本運用開始。

航空機運航情報



空港運用情報





インターネットで
入力・閲覧

TSAT：目標スタートアップ承認時刻
TOBT：目標移動開始時刻

- ### 検討体制
- ◇ **首都圏空港の協動的運用WG 成田分科会**
 主催：航空局
 参加者：航空局、航空会社、NAA、電子研、管制協会等
 検討事項：TSAT算出、滑走路処理能力の最大活用を目的とした運用方法等
 - ◇ **成田空港CDM運営理事会**
 議長：NAA 副議長：航空局、AOC
 事務局：NAA
 参加者：航空局、航空会社、ハンドリング会社、NAA等
 空港CDMの運営状況及び課題等を検討

TSATオペレーションの効果

TSATオペレーションを実施するメリット

航空燃料の節約



地球環境保護



運用の効率化



CDMシステム (ウェブ画面)

Airport CDM Flight Operation Status

Sort Filter CSV Output TOBT Input

CK	A/D	ACID	TYPE	SPOT	DEP	DEST	EOBT	TOBT	TSAT	AOBT	EDCT	CTOT	ATOT	RWY
	D	NCA225	B748	808	RJAA	ZSPD	10:00	10:00	CNL	-	-	10:19	-	16R
	D	APJ353	A320	411L	RJAA	RJFU	16:25	16:25	16:25	16:22	-	16:40	16:40	16R
	D	APJ581	A320	412	RJAA	RJCC	16:30	16:30	16:30	16:33	-	16:47	-	16R
	D	CPA521	A35K	208	RJAA	VHHH	16:30	16:30	17:15	16:32	-	16:48	-	16R
	D	AAL60	B789	71	RJAA	KDFW	18:30	18:30	-	-	-	18:51	-	16R
	D	APJ529	A320	192L	RJAA	RJFF	18:50	18:50	-	-	-	19:11	-	34L
	D	APJ318	A20N	56	RJAA	RJBB	19:55	19:55	-	-	-	20:16	-	34L
	D	APJ589	A320	412	RJAA	RJCC	20:10	20:10	-	-	-	20:31	-	34L
	D	APJ320	A320	191R	RJAA	RJBB	21:10	21:10	-	-	-	21:31	-	34L

1 TOBT設定

運航者がTOBTを設定しATCへ通報



2 出発準備

設定したTOBTに向けて運航者が出発準備



3 TSAT算出

TOBTをもとにATCが算出したTSATを運航者へ通知



4 プッシュバック開始

TSATに合わせてプッシュバックを開始



TSAT オペレーション

運航者が設定したTOBTをATC (管制機関) と共有することで、ATCは共有されたTOBTを基にTSATを算出、それぞれの運航者へと通知されます。TSATを受け取った運航者はTSATに合わせてプッシュバックを開始することにより、空港のより効率的な運用が可能となります。

TSATとは

目標スタートアップ承認時刻 (Target Startup Approval Time) の略で、ATC (管制機関) が算出するプッシュバック開始の目標時刻。

TOBTとは

目標移動開始時刻 (Target Off-Block Time) の略で、許可が降りた段階で航空機が直ちにプッシュバックできる状況となる目標時刻。